

## 令和6年度 調布市立第六中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
○自ら学び、考える生徒      ○命を大切にする生徒      ○何ごともやりぬく生徒	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
○自ら学び、考える生徒→主体的で創造的な思考力を育成する学校 ○命を大切にする生徒→人権尊重の精神、道徳性を養う学校 ○何ごともやりぬく生徒→キャリア教育を充実させ、自己実現能力を育成する学校	
<b>ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)</b>	○調布市研究推進校として「まなびの森で創る 未来につながる授業」を基に、学習指導要領の深い理解や「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図る。 ○共生社会の実現、不登校を未然に防ぐ魅力ある学校づくりを推進していくために、人権教育及び道徳教育を重視し、豊かな心の育成を図る。 ○社会的・職業的自立に必要な資質・能力を身に付け、自己実現が果たせるように小・中・高の12年間を見通した教育活動を展開し、キャリア教育の基礎的・汎用的能力の育成を図る。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	① ICT やプリント教材を通して相手に伝えるための語彙力の基礎・基本を育成する。 ② 協働的な学び、言語活動を通して「思考力・判断力・表現力」を育成する。 ③ 単元ごとの「振り返りシート」を活用して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。	① 毎回の授業で基礎・基本の既習漢字と新出漢字の復習を繰り返し行い、「知識・技能」の語彙力を向上させる。 ② 言語活動を通して、課題を発見し、解決する言葉の力を育む。また、短歌・俳句作りなどの表現活動を通して言葉の感性を磨き、思考力・表現力を培う。 ③ 単元ごとに「気付いたこと、今後に生かしたいこと」を振り返り「主体的に学習に取り組む態度」を身に付ける。
社会	① 現代社会の諸課題について自分事として捉え、課題解決に向けて探求していく力を育成する。 ② 「振り返りシート」を活用し、自分の学びを振り返った上で、粘り強く学習に取り組む力を育成する。	① 「個人で思考→意見の共有→個人でまとめ」のサイクルを繰り返し、様々な意見や資料にふれながら自らの意見をまとめていく時間を設定する。 ② 各自がさらに良い振り返りを行えるように、振り返りシートをお互いに共有し、生徒同士でもお互いにアドバイスができるような時間を設定していく。
数学	① ICT やプリント教材を通して、「知識・技能」の更なる習得を目指す。 ② ICT やミニホワイトボードを活用し、ペアやグループでの協働的な学びを通して、「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。 ③ 振り返りシートを活用し、「自己調整能力」を高める。	① 系統性を意識し、ドリルパークやフラッシュ暗算など、生徒自身が内容や難易度を選んで取り組むことができるようにする。 ② 習熟度授業を展開し、クラスルームなどに難問を載せて、習熟度に合った学習を進める環境を整える。解き方やより良い式の表現方法などについて話し合いそれを ICT やミニホワイトボードでまとめる活動を行う。 ③ 目標や授業内容を示し、毎時間生徒自身が理解度を確認できるようにする。振り返りシートも活用する。
理科	① 生徒の興味関心を高める教材および実験を充実・活用させ、基礎的・基本的な「知識・技能」の定着を図る。 ② 個別最適な学び、協働的な学びの一体化を目指し、自由進度学習を活用しながら「思考力・判断力・表現力」を育成する。 ③ 振り返りシートを活用し、「計画的に粘り強く学習に取り組む態度」を育成する。	① 実験をできる限り実施し、科学的思考力の向上を図るとともに、単元テストや小テストを活用しながら基礎・基本の定着を図る。 ② 授業や実験の中で課題を設定し、小グループ等で話し合い、学び合いに取り組ませ、ICT を活用しながら自他の考えや意見をまとめ、発表したり表現したりする機会を増やす。 ③ 授業の中で振り返りシートを活用し、個々の理解度を教員、生徒双方で把握することで、こちらからのフィードバックも適宜行いながら、生徒がより主体的に取り組めるようにする。

<p><b>音楽</b></p>	<p>① 毎時間の振り返りにより「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。</p> <p>② 生徒の興味関心を引き出し、音楽の基礎的な「知識・技能」を定着させる。</p> <p>③ 考えや意見を効率的に共有し、協働的な学びを推進する。</p>	<p>① 毎回の授業でワークシートを用いた振り返りを行い、生徒自身が自らの学びを振り返るようにする。</p> <p>② デジタル教科書を活用し、楽譜、音源の提示を行うことで、より分かりやすく「知識・技能」を身につけられるようにする。</p> <p>③ ミライシードアプリを活用し、考えの共有を円滑に行うことができるようにする。</p>
<p><b>美術</b></p>	<p>① 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>② 造形的な見方・考え方を働かせた思考・判断・表現力</p> <p>③ 造形的な見方・考え方を働かせた知識・技能</p>	<p>① 毎授業の成果を画像で蓄積し、自己調整能力をはぐくむ。</p> <p>② ICT で多くの情報を扱ったり、共有することで豊かな発想を行う。</p> <p>③ 個別のアドバイスや ICT を活用した振り返り、「個別最適で協働的な学び」を目指す</p>
<p><b>保健体育</b></p>	<p>① 主体的に学習に取り組む姿勢や安全面に配慮し、取り組む姿勢の定着</p> <p>② 課題の合理的な解決方法につながる思考力、判断力、表現力</p> <p>③ 体力向上を図り、運動における合理的な動き方を身に付ける。</p>	<p>① どの生徒も達成感を味わうことができる課題設定の工夫。授業前の安全面確認を徹底させ、適宜教員からの声掛けを行う。</p> <p>② 学習資料や ICT 機器の活用等により、自己の課題に目を向け、解決方法を考える時間を設定する。</p> <p>③ 補強運動や運動量の確保により、体力の向上を図り、生徒同士の教えあいや ICT 機器の活用を取り入れ、合理的な動きを把握できるようにする。</p>
<p><b>技術・家庭</b></p>	<p>【技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習に取り組む態度の育成</li> <li>・技術の見方・考え方を働かせた問題解決能力の育成</li> </ul> <p>【家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的、対話的に学ぶ姿勢。</li> <li>・生活の中の課題発見とその解決能力の向上</li> </ul>	<p>【技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら他者と関わろうとしたり、自身の考えを深めようとするため、ICT 機器の活用を工夫して取り入れる。</li> <li>・自分事として捉えながら学習に取り組むための教材選定。</li> </ul> <p>【家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで見通しをもって学習に臨めるようにし、思考力や判断力を身に付けさせる。</li> <li>・ICT 教材や工夫した教材を準備し、個に応じた授業内容にする。</li> </ul>
<p><b>外国語 (英語)</b></p>	<p>① ICT 教材を積極的に活用し、主体的に問題解決に取り組む力</p> <p>② 日本の伝統を重んじ、日本の魅力を発信できる力</p> <p>③ 他者と協働して物事に取り組み、伝え方を工夫しながら自分の考えを伝える力</p>	<p>① デジタル教科書の活用による個別最適化の実現。ミライシード等学習アプリケーションの活用。</p> <p>② 伝統に触れる教材を扱い、伝統に関する思いや考えをペアやグループに伝え伝統理解を深める活動の実施。</p> <p>③ ペアワーク、グループワークを充実させ、伝える喜びや伝わる喜びを実感できるようにしていく。</p>
<p><b>道徳科</b></p>	<p>① 道徳的な判断力</p> <p>② 心情</p> <p>③ 実践意欲</p> <p>④ 態度</p>	<p>① 自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深められるように題材選びや発問を工夫する。</p> <p>② 「考え、議論する」道徳の授業をとおして、人間としての生き方について自覚を深め、ともによりよく生きようとする意欲や態度を培うように展開を工夫する。</p>